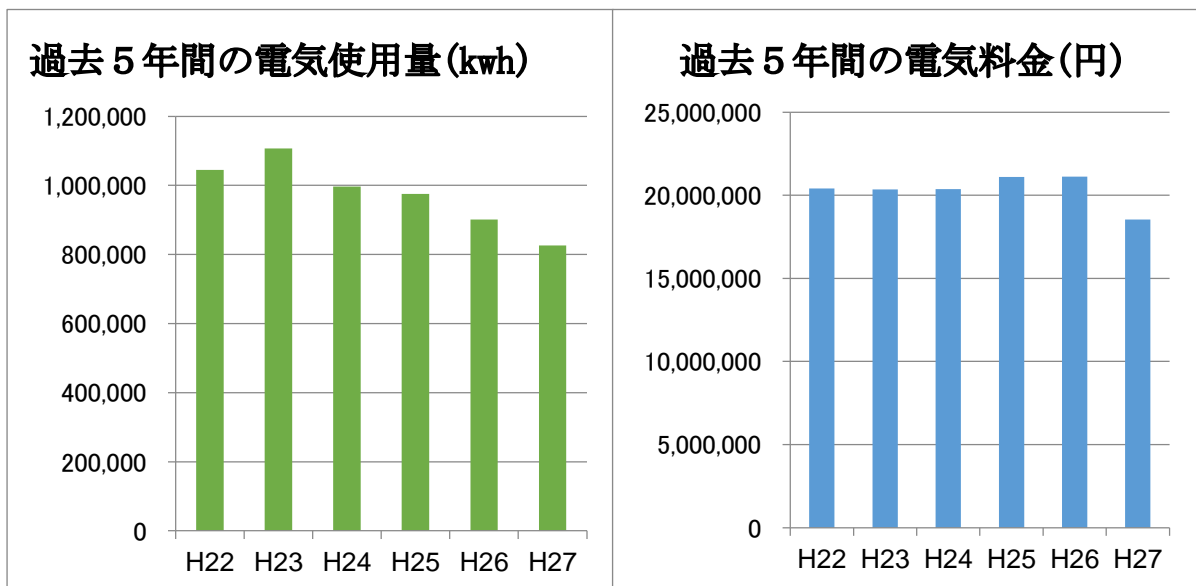


平成27年度庁舎電気使用量・電気料金について（エコアクション・見える化）

市庁舎の電気使用量削減に向けた取組状況を、お知らせします。

1 榛原・相良両庁舎の年間電気使用量・料金の推移

年 度	年間電気使用量	年間電気料金
平成26年度	901,223 kwh	21,125,333 円
平成27年度	825,686 kwh	18,550,489 円
増減比較	(削減率 8.4%) △75,537 kwh	(削減率 12.2%) △2,574,844 円



2 これまでの主な取り組み

- ① 空調の適温化、自動ドアとエレベーターを使用しない、昼休み等の消灯などエコアクション21実践10箇条の徹底【平成19年7月取得 東海4県初】
- ② デマンド監視装置の導入【平成25年度～】
 ※デマンド監視装置とは、需要電力があらかじめ設定した目標電力を超えそうになったとき、警報などで知らせピーク電力を監視するもの。契約電力は1年間の最大需要電力のピーク値を基本料金として設定するため、契約電力の抑制に効果的。
- ③ 相良庁舎の空調設備を集中管理からパッケージエアコンに更新。【平成26年度】
- ④ 榛原庁舎に太陽光パネル(10kw)及び蓄電池(15kw)を設置し、太陽光で発電された電力の一部を榛原庁舎の電力として使用。【平成26年度】
- ⑤ 榛原庁舎の照明器具のLED化及び空調設備の一部(冷温水発生機・空冷チラー)を更新。【平成27年度 環境省モデル事業】

3 設備設置費用の回収見込み

上記③～⑤の実質負担設置費用(工事費等費用から補助金額を除いた額)は40,547,600円である。設備設置完了後の年間電気料金削減率は16.8%程度が見込まれ、削減見込額は年間3,558,769円となり、約11年で設置費用が回収される計算となる。